

持続可能な開発目標（SDGs）推進本部会合（第5回）
議事録

平成30年6月15日
官邸2階小ホール

【内閣官房長官】

ただ今から、持続可能な開発目標、SDGs推進本部の第5回会合を開催いたします。

それでは、議事に入ります。

まず、議事「拡大版SDGsアクションプラン2018」について、和泉総理補佐官から説明をお願いします。

【和泉総理補佐官】

資料『拡大版SDGsアクションプラン2018』について御説明いたします。

1ページ目を御覧下さい。本日取り纏める『骨太の方針』及び『未来投資戦略』において、国際社会でのSDGs推進に向けた強いリーダーシップの発揮や、企業の取組への支援等が盛り込まれる予定です。

また、前回会合の総理指示も踏まえ、「SDGsモデル」の3本柱である、①ソサエティ5.0の推進、②地方創生、③女性・次世代のエンパワーメントに沿って、政府の取組を更に具体化・拡大しました。

まず、『統合イノベーション戦略』や『知的財産戦略ビジョン』でSDGsへの貢献やその方法を打ち出しました。日本企業がフロントランナーとしてSDGsを実現するため、「SDGs経営推進イニシアティブ」も具体化しました。

地方創生については、優れたSDGsの取組を提案する29の自治体を「SDGs未来都市」に、うち10の自治体を「自治体SDGsモデル事業」の対象に選定しました。この後、「SDGs未来都市」選定証授与式が行われます。

第3の柱については、来年のG20・TICADに向けて、保健・教育分野の取組を強化します。「ビジネスと人権」の国別行動計画策定も加速化させます。

3 ページ目以降に、前回より倍増した各府省の取組を掲載しております。

政府一丸となって、本『アクションプラン』に基づき、取組を更に前進させ、その成果を国際社会に発信・展開していきたいと考えています。以上です。

【内閣官房長官】

ただいまの説明に関連して、何か御発言等ございますか。

【河野外務大臣】

外務省は、「人間の安全保障」に基づき、日本の経験・強みを活かしつつ、保健・教育をはじめ、国際社会の「人づくり」においてリーダーシップを発揮します。

また、6月中に、外務省が主導して、官民の優良事例を集約するSDGsウェブ・プラットフォームを創設し、それを世界にも発信していきます。

【麻生副総理兼財務大臣】

これまで財務省が注力してきたUHCや質の高いインフラの推進は、SDGsの達成を後押しするものであると思っています。「アジアの未来」の総理の御発言でもJBICの新ファシリティの設立に触れて頂いたところです。引き続きSDGsの達成に貢献してまいります。

【野田総務大臣】

全てのSDGsの実現には「ジェンダー主流化」が不可欠であり、「女性活躍加速のための重点方針2018」に基づいて、女性活躍の取組を加速させていきます。

総務省が目指す「落ち着いて、やさしく、持続可能な社会の実現」はSDGsの理念とも共通しており、テレワークの推進とともにシームレスな働き方につながるオフィス改革などを実施していきます。

【石井国土交通大臣】

国土交通省は、新たにアクションプラン2018に追加した、戦略的な社会資本の整備、地球規模の測地基準座標系の普及、下水道分野の国際展開等を通じて、SDGsの達成に貢献してまいります。

【林文部科学大臣】

文部科学省は、総合科学技術・イノベーション会議とも連携して、新たに示された STI for SDGs に関する各分野の研究開発を推進するとともに、新しい学習指導要領の実施や教育費の負担軽減等による引き続きの次世代の教育振興などにより、SDGs の達成に努めます。

【鈴木国務大臣】

東京大会に向け、SDGs を前面に出した「持続可能性に配慮した運営計画第二版」が公表されました。

本日、本府庁舎を皮切りに使用済み小型家電の回収ボックスを設置し、各省にリレーする取組を行いますので、メダル製作にご協力をお願いいたします。

【上川法務大臣】

法務省関係では、子どもの人権問題への対応、予防司法支援の推進、各国の刑事司法実務家を対象とする研修が、新たにアクションプランに加わりました。

新設された官房国際課を司令塔として、SDGs の達成に一層の貢献をして参ります。

【加藤厚生労働大臣】

保健分野では、来年日本で開催するG20保健大臣会合も見据えつつ、関係省庁や国際機関等と連携しながら各国におけるUHCの推進に積極的に貢献するとともに、成長・雇用分野では、働き方改革を着実に推進するため、早期に法案の成立を目指します。

【松山国務大臣】

本日閣議決定されました「統合イノベーション戦略」にも、「SDGsのための科学技術イノベーション（STI）の推進」を、明記いたしました。

今後、これに基づき、「STI for SDGsロードマップ」を策定し、また、SDGs達成に向けた「知的資産プラットフォーム」の構築を進めてまいります。

【梶山国務大臣】

本日、「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」を選定いたします。

今後は、各省一体となって成功事例の普及展開を図るとともに、一層の官民連携の強化に向けた取組を推進し、地方創生のさらなる実現につなげます。

【福井国務大臣】

エシカル消費は、人や社会・環境に配慮した消費行動で、意識すれば、誰もが取り組むことができます。

「あなたの消費が世界の未来を変える」というキャッチフレーズも使いながら、その普及・啓発を行い、SDGsの目指す持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

【中川環境大臣】

環境省は、拡大版アクションプランに基づき、引き続き、環境の側面からSDGsの達成に貢献し、環境・経済・社会の諸課題の同時解決と、次世代に質の高い生活と良好な環境をもたらす、「新たな成長」を目指します。

【齋藤農林水産大臣】

本プランでは、地域資源を活用した農山漁村の振興や農業・食品産業におけるICTやロボット技術を活用したイノベーションの推進等の施策を新たに追加いたしました。

引き続き、優先課題に関する取組を充実し、SDGsの実現に貢献していく考えです。

【西銘経済産業副大臣】

日本企業の価値への理解を高めるとともに、日本企業がフロントランナーとしてSDGsを実現するため、ESG投資・対話の促進、ソサエティ5.0の海外展開プロジェクト組成支援等を積極的に行います。

省エネ・気候変動対策等も、しっかり推進します。

【内閣官房長官】

他に御発言もないようでしたら、「拡大版SDGsアクションプラン2018」について、本推進本部の決定としたいと考えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

【内閣官房長官】

それでは、本件については、本推進本部の決定といたします。

【内閣官房長官】

最後に、総理から御発言をお願いします。

【内閣総理大臣】

持続可能な成長を実現し、その豊かさと幸せをみんなで共有する——安倍政権は、オールジャパンでSDGsを推進することにより、少子高齢化の中でも、そのような社会を全力で創っていきます。そのキーワードは、「未来」、「女性と次世代」そして「見える化」の3つです。

まず「未来」についてです。SDGsを、日本の未来を創る国家戦略の主軸に据えます。本日取り纏める『骨太の方針』や『成長戦略』、先ほど決定した『統合イノベーション戦略』で、SDGsの推進を強力に打ち出します。優れた取組を提案する約30の自治体を、「SDGs未来都市」に選定します。

日本は、SDGsの推進を通じ、世界の未来を牽引していきます。2019年には、G20首脳・閣僚会合の開催地からSDGsの推進を発信します。2020年には、東京オリンピック・パラリンピック大会をSDGsを推進する五輪にしていきます。

「女性」と「次世代」は、SDGsの担い手であり、政府を挙げて「女性」と「次世代」をエンパワーします。

官民挙げて女性の活躍を推進するため、来年春にWAW!とW20を合同で開催します。次世代の力を動員すべく、「次世代のSDGs推進プラットフォーム」を年末までに立ち上げます。

来年のG20サミットとTICADに向け、次世代への保健・教育分野の取組を強化します。気候変動対策に関する長期戦略を策定し、グリーン・ビジネスによる成長の好循環を推進します。

最後に、SDGsのための行動を一層「見える化」していきます。今決定した『拡大版SDGsアクションプラン2018』では、政府によるSDGsの取組を倍増しました。6月中に創設する「SDGsウェブ・プラットフォーム」

も活用し、官民の取組を幅広く共有していきます。

先週、日本が共同議長を務めた国連STIフォーラムで、SDGsのための科学技術イノベーションに関する「ロードマップ」の基本構想を、世界に先駆けて提示しました。この構想を踏まえ、今後策定する関連の計画・戦略等の全てにおいても、SDGsの「見える化」を図っていきます。

関係閣僚におかれては、これらの方針・戦略や『アクションプラン』を踏まえ、SDGsの取組を更に強化・拡大するとともに、その発信・展開に一層尽力するようお願いいたします。

【内閣官房長官】

それでは、以上をもって、持続可能な開発目標、SDGs推進本部の第5回会合を終了します。

(了)